

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦  
幹事 村上 堅二



## 第1809回例会

令和6年6月13日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのラスト

○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会長 (矢吹RC40周年、村上幹事、阿部エレクト、おつかれ様でした。RYLA研修会、金田会員、中目会員、ごくろう様でした。)
- 村上堅二幹事 (各委員長の皆様、回顧ありがとうございました。残り2回となりました。宜しく御願いたします。)
- 金田昇会員 (5大部門委員長1年間おつかれさまでした。)
- 佐藤清作会員 (五大部門の1年回顧ご苦労様でした。来週は会長幹事の1年回顧ですが申し訳ありませんが欠席です。1年間大変ご苦労様でした。また更に残念ですが会長幹事慰労会欠席となります。)
- 永野文雄会員 (五大部門委員長さん1年間ご苦労様です。発表ありがとうございます。)

▶第1809回例会出席状況 (R6年6月13日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	70名
Ⓒ ①の出席者数	22名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	14名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	36名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	65
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	55.3%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 6月8日 矢吹RC40周年記念式典  
佐藤幸彦、村上堅二、阿部克弘
- 6月8日～9日 RYLA研修福島大会  
金田昇、中目公英

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんばんは。毎日暑い日が続いておりますけど、皆さん健康管理のほうは大丈夫でしょうか。30度を超える日が続いたりとか、また熱中症で倒れてる方も結構多いようがございますので、とにかく水分、水は喉乾いてから飲むのではなく、ちょぼちょぼちょぼちょぼと飲んで健康管理気をつけていただければと思います。さて、先週でございますが6月8日の日、矢吹ロータリーの40周年に私と村上幹事、阿部エレクトで行ってまいりました。場所は「いやさか」で行われたわけですが、当初は別会場でやる予定だったそうでございますけども、会場の都合により「いやさか」になってしまったということで、各クラブ3名程度で出席をお願いしたいということで、3名で出席してまいりました。記念式典が行われまして、右近ガバナーもいらっしゃいまして、蛭田矢吹町長、矢内泉崎村長等々出席の上、無事式典が行われました。また、記念講演が行われまして鈴木邦典パストガバナーが「芭蕉像とチャールズ皇太子」として講演されました。皆さんもお気づきかと思いますが、白河駅前に芭蕉像があるんですね。あれは白河ロータリークラブさんがロータリー100周年で建てた像で、その建立された時の苦労話等をしておりました。また、最後にはワインの話なんかもして結構盛り上がった講演会になりました。その後、記念祝賀会に入ったわけですが、なんと私が乾杯の音頭ということになってまして、乾杯の音頭を取らせていただきました。無事終了いたしまして、と同時に、同じ日なんですけどRYLA研修会を熱海のほうでやっておりまして、そのほうには金田会員、中目会員二人が出席されたようでございます。お疲れ様でございます。また、一昨日でございますが、米沢中央ロータリークラブさんが4名で吉澤エレクトをはじめ4名でいらっしゃいまして、次年度に関しての打ち合わせということで、当ロータリークラブからは私と村上幹事、金田会員と阿部エレクト、4名で打ち合わせさせていただきました。非常にまじめで、次年度の交流会どうしようかと打ち合わせをしてすごい素晴らしいなと思いました。その中で、米沢中央ロータリークラブさんと

は姉妹締結をずっと結んでるわけですが、5年ごとに締結調印式をやっているということだったんですが、2021年、今から3年前でございますが、本当は米沢の35周年記念式典の中で調印をする予定だったんですが、コロナ禍の為に35周年記念もできなかったということで、調印ができてないのでこの機会に是非やらせていただきたいということで、本来ならば後程理事会で上がるかと思うんですけども、皆さん反対する方はいらっしゃらないでしょうし、次年度、阿部・十文字年度で40周年までの間で調印をしようということになりましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。さて、今日は五大部門の一年回顧ということで、残すところあと2回の例会となりました。私もだんだん肩の荷が下りてきたようでございますけども、最後まで気を抜かぬように皆さんの協力を得ながら無事帰港したいと思いますので、最後までよろしくお願ひします。

### ■幹事報告

村上堅二幹事



○第74回“社会を明るくする運動”白河市実施委員会白河市長 鈴木和夫：第74回“社会を明るくする運動”白河市実施委員会内閣総理大臣メッセージ伝達及び街頭啓発活動の実施について

(依頼)

- 白河市国際交流協会会長 内藤義久：「高校生海外派遣事業」チラシの送付について
- 青少年奉仕委員会委員長 大木和彦RYLA委員会委員長 中目公英：「第42回RYLA研修報告書」について
- 白河市長 鈴木和夫：“街頭献血キャンペーン”への協力と記念品等の協賛について(依頼)
- 職業奉仕委員会委員長 齊藤純一：職業奉仕アラカルト・阿久津肇語集 HP公開のお知らせ

### ■各委員会報告

OSAA

堀田一彦会員

SA Aのほうからなんですけど、吉田さんのテーブルにお菓子があります。米沢中央ロータリークラブさんから頂いたお菓子なんですけど、ちょっと人数分ありませんので、欲しい方はお持ちください。よろしくお願ひします。

## ■本日のプログラム

## 五大部門一年回顧

## ○歴史文化研究愛好会

関谷亮一会長



皆さん、こんばんは。歴史文化研究愛好会から回顧を申し上げたいと思いますが。この歴史文化愛好会の事業として、昨年11月「藤田記念博物館」において、移動例会を開催させていただきました。結城素明の企画展がございまして、それに合わせて佐川学芸員さんにいろいろと詳しくご説明をいただきまして、大勢の皆さんにこの移動例会に出席をしていただきました。ありがとうございました。以上で、歴史文化愛好会の回顧といたします。ありがとうございました。

## ○会長エレクト

阿部克弘会員



皆さん、おばんでございます。本年、会長エレクトを仰せつかりました阿部克弘です。一年間、エレクトとして地区、分区、クラブと様々な研修会等に参加させていただきまして研鑽を積んでまいりました。しかし、会長になりますと大変責任感も大きくなってまいりますことが、今回一年間通して感じてまいりました。この一年間、佐藤会長の背中を見ながらどうあったら良い会長になれるのかというふうに考えてまいりましたが、自分らしく次年度はやっていければなど、もうそういう事にもう結論を出しました。自分なりのやり方で自分の行動で皆さんと一緒に頑張っていけたらなというふうに思っております。一年間、どうもありがとうございました。

## ○副会長

藤田龍文会員



皆さん、こんばんは。本年度、副会長を務めさせていただきました藤田です。副会長といたしますと、こう委員会に所属するわけでもなく、全般的に佐藤会長、佐藤年度のいろいろなバックアップができればということで、なるべく多くの事業に参加することを心掛けてましたし、佐藤会長のいろいろなアイデアが盛り沢山の事業も来年エレクトということですので、大変参考になり勉強させていただきました。来年は立場上エレクトということでこの場所

に立つと思いますので、先程阿部次年度も仰ったように、悔いがないような、そして自分の担当する年度には皆さんに今までの経験を還元できるような年度にしていきたいと、ひたすらここ1~2年はそういったところで勉強させていただく年になるかと思っております。是非来年度も阿部年度の支えになれるように。そして、次年度は周年ということですので、多くの皆さんに感謝をしながら年度を迎えられるようにしていきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

## ○国際奉仕委員会

諸橋和典委員長



皆さん、こんばんは。国際奉仕委員会、委員長の諸橋です。国際奉仕委員会は、委員長わたくし、副委員長に居川さん。委員に、成井さん、吉田充さんというそうそうたるメンバーだったんですが、ちょっとたいした事やらずに終わってしまいました。2月の担当例会においては、昨年6月に、その前もそうなんですけども、ランドセルをアフガンに送るとい活動をしているお世話になったNGOの「ジョイセフ」の担当者をズームで繋いでオンラインの卓話をお願いしました。こちら前回と一昨年と500個くらい全部で送ってるんですけども、アフガニスタンに送られたそちらのランドセルがどのように子供たちに届いて子供たちの生活に役立っているのかを確認することができたと思います。今年度も、ランドセルを送る活動の計画をしておったんですけども、ランドセル1個当たりの輸送経費だったり、ジョイセフさんに払うお金だったりが高騰してしまって今のところ断念しております。ただし、昨年送った後に届いたランドセルが10個程ありまして、こちらを今月中に送る予定としております。このランドセルを海外に送る事業というのは、まず集める段階で白河地域の子供たちにとって国際社会について考えるよい機会でもありますし、まだまだ綺麗で捨てづらいランドセルをまた活用できる機会を作れるということで、とても良い事業だと思っております。何らかの形で次年度以降も再度挑戦して、アフガニスタンにこだわらずにどちらか海外に送れるような手段を取っていければと考えております。ということで、直接的な国際奉仕がなかなかできないの状態ではありましたが、次年度も国際奉仕委員会委員長となりますので、来年また頑張ってい



きたいと思います。ということで、一年回顧とさせていただきます。ありがとうございます。

○ビジョン推進・研修委員会 宮本多可夫委員長



皆さん、こんばんは。今年度、ビジョン推進・研修委員会の委員長を務めさせていただきました宮本です。今年度の回顧ですけれども、今年度の目標としましてはホームミーティングを通して我がクラブの在り方を皆で考えようと。それをお互い共有しようという、そういう事を一つの目標としました。それから、もう一つは必要に応じて例会等で定款、細則の勉強の機会を持つということで。幸いにして卓話の機会をいただきまして、今まで皆さんは年次計画書の後ろのほうにあって、いつもさりと目を流してきたものを少し時間をかけて読み合わせてきたとは思いますが、いかんせん限られた時間内で十分な深読みはできなかったと思いますけれども。自分が会の運営の中でちょっと疑問に思ったことが仮にあればそれ改めて定款、細則を見て定款、細則はどうなってるのかということとその都度確認することによって、自分の立つ位置といいますか、クラブの立つ位置というのを確認しながら運営できるのではないかというふうに思います。そういう意味でのきっかけの機会ができたのではないかというふうに思っております。それから、ホームミーティングにつきましては例年どおり2回開きまして、それぞれ皆さん例会よりもホームミーティングのほうが楽しいというような伝統的な流れの中で、いろいろ我がクラブの在り方を議論していただいたと思います。そういうことで、基礎の基礎の委員会ですけれども、来年度は中目さんに委員長が代わって私の役目も一応今年度で終わることになりますけれども。来年度は、また新しく中目さんのもとでビジョン推進・研修の在り方というものをお互い確認しながら進めてもらいたいと思っております。本年度はどうもありがとうございました。

○副幹事



皆様、こんばんは。副幹事の十文字です。本年度、副幹事として一年間活動しましたが、まだまだ未熟でロータリーの知識も乏しい私としましては、村上幹事のもとでいろいろと勉強させていただきました。また、米沢中央ロータリークラブさんや深谷ノースロータリークラブさんとの交流事業の参加、地区研修協議会等の参加など、いろいろ経験をさせていただきましたので、今後のロータリー活動に生かしていきたいと考えております。一年間、お世話になりました。ありがとうございます。

十文字光信会員

○S A A



S A Aのほうで一年回顧といたしましては、S A Aも3回目なんですが、とにかく大変だった思しかないです。一年間毎週1時間前に来て、全部の例会に出て、席を決めて、それから司会をしてということなんですが。そのやることだけで精一杯で、本当は食事の改善ですとか席順をもうちょっといろんなバラエティに富んだ席にしたりとかしなければいけない。それから、駐車場とかもかなり東京第一さん狭いので、その辺の確保とかも本当はS A Aでやっていかなければいけないんでしょうけど、そこまで本年度は手が回らなかったというところなので、次年度の矢田部さんにちょっと頑張ってもらおうかなというところで、今年の問題点を引き継いでいこうかなというふうに思っています。まだあと例会2回ありますので、最後までよろしく願います。

堀田一彦 S A A

○クラブ会報



今年度クラブ会報委員会は委員長吉田充、副委員長に鈴木典雄会員、委員に池田浩章会員、渡部勝也会員の4人体制で毎月担当月を決め写真撮影及び校正を行い発行してまいりました。西クラブの伝統である毎回遅れることなく発行することを目標に1765回例会分から1811回例会分まで無事に発行いたしました。これも一重に委員会のメンバー、毎週校正と検閲をしてくださった永野会員、そして全会員のご協力があったからこそであります。

吉田充委員長

皆様に感謝して一年の回顧といたします。ありがとうございました。

#### ○ロータリー財団委員会

中目公英委員長



白河西ロータリークラブのロータリー財団委員会の委員長としての一年回顧を少しお話をさせていただきます。

村上幹事のほうにはもう既に報告書は出してあります。佐藤幸彦会長の「みんなが楽しいロータリー」というテーマに従い、ロータリー財団の活動を我がクラブのメンバーに伝え、ロータリー財団の標語である「世界で良いことをしよう」ということを実践し、みんなで奉仕をするような活動をしましょうということを目指しました。ロータリー財団のポール・ハリス・フェローに関しましては、金田昇会員と山口治会員のほうにご協力いただきました。本当にありがとうございました。また、ポリオプラス基金のほうに関しましては、諸橋和典さんにご協力をいただきました。前年の高島会長年度の時にちょっと頑張りすぎたもんですから、佐藤幸彦年度は財団に関してはほどほどに活動するというふうなことなもんですから、大口の方はその3名の方です。それから、クラブとして一人当たり50ドルを年次基金に寄付するようになってるんですけど、多分これは村上幹事のほうやってくれるのではないかと考えておりますので。おそらく来年の地区大会では、我がクラブが財団で表彰されるということはないと思います。それから、寄付をするというほうはそれ以上です。それから、寄付金を使うというほうですけども、阿部克弘次年度のほうに12月の補助金セミナーに出席をいただきまして、1月の末に締結をしまして、3月に一応補助金の事業を申請をしまして。この間、地区の財団委員会の打ち合わせ会合があって、それでロータリー財団のほうに申請をするというふうな現在手続きに進んでおります。阿部さん、順調にいけば8月の末に一応ロータリー財団の許可になりまして、9月以降であれば事業が実施できるようになりますので、そのくらいの感じで事業の自主計画をこれから練っていただければと思います。また、佐藤幸彦年度に関しましては、村上さんを中心にプロ野球選手を呼んで、西郷の米小でやった事業を行いました。この点につきましても5月の末までに村上幹事のほうから財団のほうに報告書を

出していただきましたので、一応我がクラブとしての財団のお金を使うほうに関してましてはすべてスムーズに今年度執り行うことができました。この一年間、矢田部錦四郎副委員長、山口治、片倉義文両委員の皆さんをはじめとして、西クラブの会員の皆さん方のお力添えをいただきまして、滞りなく財団委員会の活動を行うことができましたので、改めて御礼を申し上げご報告と代えさせていただきます。

#### ■第42回 R Y L A 研修会報告

R Y L A 委員会委員長 中目公英委員長



今年の2月24～25日に2530地域の第42回 R Y L A 研修会というのを「ホテル華の湯」で行いました。このことに関しましては、我がクラブでもう既に石川さんがその次の週に例会で発表して

くれましたから、ここで改めて報告発表するまでもないと思っています。今日、幹事報告の中にあっただのは、その時の報告書が出来上がりまして、今までは印刷製本して各クラブに1冊づつ送られてくるんですけども、右近年度はガバナー月信も地区のホームページにデータとしてアップされるだけという方針のペーパーレス化が進んでるもんですから、42回の R Y L A 研修会の報告書に関しましても右近ガバナーのホームページのほうにアップされております。ただ、個人情報がいっぱいわかってしまいますから、一応パスワードが必要になりますので、その報告書をダウンロードしたいという場合は今日の幹事報告にありましたペーパーを見ていただきましてパスワードのほうを記録書き留めていただければと思います。できれば石川さんの社員の方々に、こんな形で報告書になりましたよと。あと金田昇さんのところ、あとは山口さんのお嬢さんも参加していただきましたから、その3名の方々はパスワードを書き留めていただいて、右近ガバナーのホームページのほうからダウンロードしてもらえればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。それで、これからが報告になります。2530地域ではそのような形で1泊2日の R Y L A 研修会というのをいたしました。去る6月の8～9日の一泊二日で全国 R Y L A 研究会というのを開催しました。主幹が2530地域になったもんですから、日本ロータリーの34地域の34地区のそれぞれの R Y L A に関わる方々。地区のガバナーであるとか、ガバナーエレクトであるとか、パス

トガバナーであるとか、あるいは青少年奉仕の大委員長であるとか、RYLA委員長の方々が総勢160名を超えて福島に集いまして、これからRYLAの在り方はどんな形がいいのかというふうなことを皆で研修をしあい、地区のRYLAをより良い方向に持っていきましょうというふうなために研修会を執り行ってまいりました。設営が2530地域なものですからホストクラブは福島中央ロータリークラブさんだったんですが、青少年奉仕のRYLA委員長を地区で仰せつかってるものですから、そのような23地区のお偉いさん方がいる前で、私のほうが第42回RYLA研修会の報告のほうをさせていただきまして、我が地区ではこのような形でやってるんだというふうな報告をさせていただきました。多くの34地区の中で熱心な地区は3泊4日であるとか2泊3日というふうな形で、長い日にちでやっている地区が多いんですけれども、2530地域の場合は地区からのお金、事業費が150万位しかないものですから1泊2日しかできないんですけれども、その中で研修を深めた。今年、いろいろと問題になってきているのは、なかなか若い方々のRYLAに対する参加者がこの地域もなかなか集まらない。ロータリアンが若い方々に指導力、リーダーシップを付けてもらおうと思って研修プログラムを編成するんですけれども、受けている若い人たちにとってみれば余計なお世話だというふうに思う人はいっぱいいるので、その辺のギャップを埋めましょうみたいな話し合いが行われましたし、より良い方向で今後RYLA研修が行われるようになりますから、次年度の早川年度の時にも、我がクラブから一人ないし二人くらいRYLA研修会に派遣

してもらえれば大変ありがたいなと思っている次第であります。その全国RYLA研修会には、日本のトップ3といわれるロータリアンが全員集合しました。日本のトップ3というロータリアンというのは誰かというところ、現在の国際ロータリーの日本ロータリーからの一番のRI理事。つまり、国際ロータリーの理事。日本ロータリーからただ一人だけ出てるんですけど、それは佐藤さんという理事が出席になりましたし、来年度からは今度は水野さんという方が理事になるんだそうです。理事経験者の方はもう一人、パストRI理事という人がもう一人田中さんというこの3名が一つの会合に集まるというのは大変珍しいことらしく、この3名が集うと日本のビック3のロータリアンが一堂に集うというふうな形で。大体このような方々は、毎年ロータリーの財団に1万ドル位は平気で寄付をするような方々でないとRIの理事になれませんので、普通はポール・ハリスは1,000ドルですけども、1万ドルですから今だと150万位毎年寄付してるわけですね。そのくらいのことをやってないとRIのほうまでは理事になれないので、RIの理事になりたいという皆さん方は毎年今のレートで150万位を10年間くらいロータリーの財団のほうに寄付すれば、何とか金田さんに次いでガバナーをやりまして、そうするとRIの理事になれるというふうな大体ルートが整っているそうですから、どうぞ皆さん方、どうぞお墓の中にお金持ってけませんから、1万ドル位づつ財団のほうに寄付してもらえればありがたいと思っております。このくらいの事をご報告をさせていただきます。

## 2023-2024年度 第12回理事会

日時 令和6年7月13日(木)

1. 会長挨拶 佐藤幸彦会長
2. 協議事項 全会一致承認
  - ① 新入会員承認の件  
十文字宗博様  
鈴木 満様
  - ② 退会について 全会一致承認  
水上泰真人会員の退会の件 (6月30日付け)
  - ③ その他
3. その他
  - ① 現在行っているZOOMでの例会配信について  
次年度以降検討 継続審議
  - ② その他

